

特色ある取組

取材対応者



永青文庫研究センター長
稲葉 継陽教授

熊本大学には、地元に残された歴史資料（古文書・古記録）が数多く所蔵・寄託されています。しかし10万点以上の貴重資料群の中には、虫損や経年劣化による破損・汚損がみられるものも多く、当代一流の職人たちの手による修復事業を実施しているところです。

また、重要文化財を含む貴重資料は、社会貢献の一環として毎年資料展を開催し、オリジナル資料を一般市民・学生・教職員へ期間限定で公開しています。

令和2年度は、第36回貴重資料展「甦った絵図と古文書」をテーマに準備を進め、修復により現代に甦った資料の数々は「初公開資料の宝石箱」ともいえる興味深い展覧会となるはずでした。残念ながら感染症対策のため例年同様の開催は見送りましたが、今回は直接来館しなくても楽しんでいただけるように、特設サイト【オンライン貴重資料展】を開設しました。オンライン資料展では絵図1点と古文書2点に焦点を当てています。修復前と修復後の画像を表示し、画面上にあるスライダーバーを自分で動かし比較しながら、見ていくことができます。

上記取組による成果・評価 など

近年、熊本大学所蔵「松井家文書」からは、日本近世初期の新発見が相次いでおり、社会からの注目も集めています。修復事業はその「松井家文書」を中心に計画を進め、資料を次世代へ繋ぐことで学術的な意義はもちろん、全国の博物館・美術館への貸出に耐える状態とし、広く一般市民へ知っていただく得難い機会となりました。

オンライン貴重資料展では、歴史的な新発見を一般市民へ届けるとともに、通常の展覧会と趣が異なる試みも好評を得ており、全国から多くの方々がサイトを訪れています。

(修復前の状態へ)



(修復後の状態へ)

白い境界線（スライダー）を動かすことで修復前と修復後の画像を比較できるよう設計した。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/events/onlinekichoshiryo>

参考URL

- ・熊本大学附属図書館ホームページ
<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>
- ・オンライン貴重資料展 特設サイト
<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/events/onlinekichoshiryo>